

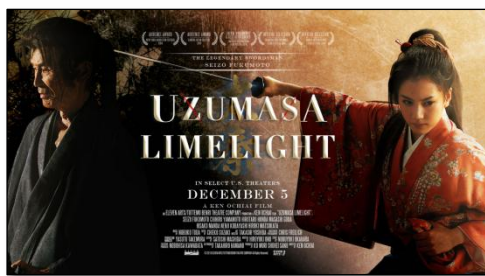
# 八月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二一  
 浄土真宗 本願寺派 西福寺  
 TEL073-533375 FAX073-533375

宗祖が勢至菩薩の化身と仰がれた法然聖人の父漆間時国は「われこのきずいたむ。人またいたまざらんや。われこのいのちを惜しむ。人あに惜しまざらんや」とご遺言されました。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十七年八月のご案内を申し上げます。

## 盃蘭盆会

日時 八月十五日(土) 夜七時〜九時  
 講師 当院住職自動



■「お盆は、『盃蘭盆経』の説話による行事です。わが子への愛ゆえに餓鬼道(がきどう)に堕ちた母。その母の境涯を知り、苦悩する目連尊者(もくれんそんじゃ)。じゅんじゅんと救済の法を説かれるお釈迦さま(菅純和著『仏事の小箱』)。親の恩に思いをいたし、どうぞご家族皆さままでお参り下さい。「太秦ライムライト(2014年・日本)」上映予定。

### ●お盆のお参りについて

「正信念仏偈」と下記の「四句念仏・回向」そして「ご文章」をお勤めいたします。どうぞ、有縁の方々ご一緒にお参り下さい。

「正信念仏偈」は、「十二礼(じゅうにらい)」の節でお勤めいたします。「行譜」・「草譜」でのお勤めの際は「善導独明佛正意」で調声人が独唱いたしますが、この場合は、そのまま続けてともに唱和いたします。なお、人生講座はお休みです。

\* \* \*

### 西福寺歓喜会(かんぎえ)

平素より宗門ならびに当山西福寺の護持発展のため、格別のご配慮を賜わり有難く厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り8月9日、「歓喜会」をお勤めいたします。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、当日各世帯代表者1名のご参拝をお願い申し上げます。今後ともご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

#### 記

- 一、日時 8月9日(日) 午後6時〜
  - 二、会所 西福寺本堂
  - 三、持物 聖典・念珠・式章ご持参ください。
- ※西福寺上野門徒のみ。

### 平成28、29年 伝灯奉告法要

#### 念佛 律曲 平調

南无阿彌陀佛

南无觀世音菩薩

南无大勢至菩薩

南无清淨大海

衆菩薩

回向 律曲 黄鐘調

願以此功德

平等施一切

同發菩提心

往生安樂國

石川欣也先生の 法話のダイヤル 0743-53-4488

### 正信偈のつづき ②

#### ◆正信偈

「正」とは、傍(かたわら)に対し、邪(よこしま)に対し、雑(夾雑)に対する言葉です。「信」とは、疑(うたがい)に対し、行(修行)に対する言葉です。

#### ◆帰命無量寿如来 南無不可思議光

【意訳】ひかりといのちきわみなき 阿弥陀ほとけを仰がなん

「帰命無量寿如来」とは、限りなきいのちの仏さまである阿弥陀如来に南無せよということ。す。「南無不可思議光」とは、仏智により真実が明らかとなるさまが、すぐれた光明がいかなる暗闇をも打ち破っていくさまに重ねて説かれています。「帰命無量寿如来」とは、南無阿弥陀仏を中国のことばで訳したものです。南無阿弥陀仏とは、人知をもつて伺い知ることができず、当然ことばで言い表すこともできません。それゆえ、南無不可思議光と申します。真実を見る術を持たず、欲にかられて迷妄の日々に終始し、いたずらに生涯を終えていく私たちを必ず救うと誓われ、すでに成就されているから、報身如来ともいい、尽十方無碍光如来とも申します。

宗祖親鸞聖人の「一念多念証文」には、次のように書かれています。

「この如来を方便法身とは申すなり。方便と申すは、かたちをあらはし、御名をしめして、衆生にしらしめたまふを申すなり。すなはち阿弥陀仏なり。この如来は光明なり、光明は智慧なり、智慧はひかりのかたちなり、智慧またかたちなければ不可思議光仏と申すなり。この如来、十方微塵世界にみちみちたまへるがゆゑに、無辺光仏と申す。しかれば、世親菩薩(天親)は「尽十方無碍光如来」となづけられたまへり」。